

授業科目	事例研究（文化財） Case Study (Cultural property)			担当教員	中島 金太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年／後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							
<p><b>テーマ：</b> 文化財調査・研究法実践</p> <p>到達目標：各文化財に応じた調査・研究方法について実践的な知識・技術を習得する。 実際に文化財調査を経験し、研究者としてのスキルアップを図る。</p>							
観点	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
関心・意欲 ・態度	各種文化財に関心を抱き、意欲的に学修することができる。				現地調査	30%	
思考・判断	調査計画の立案・検討能力を涵養することができる。また、計画に対するグループワークを経て、コミュニケーション能力、論述能力等を養うことができる。				グループワーク	20%	
技能・表現	文化財調査の方法や報告書の書き方を身に付けることができる。				報告書執筆	40%	
知識・理解	文化財調査の方法と専門知識を修得できる。				事前・事後学修	10%	
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>現地調査への参加度 30%、調査計画に関わるグループワークへの取組み 20%、報告書執筆 40%、事前・事後学習 10%で評価を行う。現地調査への参加度については、受講生同士の討論や現地調査への取り組み度合いなど、複合的な観点から評価を行う。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>授業は講義とグループワーク、現地調査を組み合わせた形態とする。</p> <p>講義は、文化財調査の具体的な方法および最近の事例について講ずる。各講義の中で、適宜質疑応答や課題に対する討論を行う。</p> <p>講義内容および「文化財特講」で検討した調査計画を基に、現地調査の計画を立案する。調査地、調査対象、調査方法はグループワークによって決定し、後期授業期間内で現地調査を実践する。現地調査の一連のプロセスは、以下に示すとおりである。</p> <p>①調査地の選定                    調査・研究の目的や意義を熟慮して選定</p> <p>②研究内容の検討                調査地に関する文献・資料の分析</p> <p>③現地調査                        観察や踏査、発掘調査などの文化財調査を実施</p> <p>④報告書作成                    調査結果の分析・整理</p> <p>⑤事後学習                        調査結果に対する討論、検討</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない。(授業時に資料を配布する)</p> <p>参考書：古庄浩明 2018『文化財学の基礎』三恵社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>文化財および博物館学に関する本及び論文を多く読んでいただきたい。</p> <p>前期科目「文化財特講」を併せて受講することが望ましい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入	本講義で扱う内容、講義の進め方、評価方法、参考書等について説明する。	予習：シラバスの確認。 復習：講義の構成について理解する。
2	文化財調査の方法と事例	文化財調査の具体的な方法および最近の事例について講義する。	予習：「文化財特講」の講義内容の復習。 復習：調査地の検討。
3	調査地の選定	現地調査の目的・調査方法・場所・日程等について検討する。	予習：調査地・方法の提案。 復習：調査地の下調べ。
4	調査地の事前学修①	調査地に関する文献調査を行う。	予習：文献渉猟。 復習：文献の要点整理。
5	調査地の事前学修②	文献調査した内容を受講生内で発表し、調査計画書を作成する。	予習：発表の準備。 復習：文献の再精査。
6	調査地の事前学修③	調査に必要な技術（写真撮影、計測、拓本、調書作成、測量等）について学ぶ。※資料配布予定	予習：参考書『文化財学の基礎』を熟読。 復習：配布資料を熟読。
7	調査地の事前学修④	調査に必要な技術（写真撮影、計測、拓本、調書作成、測量等）を習得する。	予習：配布資料を熟読。 復習：調査技術の練習。
8	調査地の事前学修⑤	調査票の作成方法を学び、調査票の内容を検討する。	予習：調査項目の考案。 復習：調査票の項目整理。
9	現地調査の準備	現地調査の日程・調査票・持参品等の確認をする。	予習：調査内容の確認。 復習：持参品等の準備。
10	現地調査	気候条件の良い 10～11 月頃に現地調査を実施する。 (学外授業)	予習：調査計画書の確認。 復習：調査成果の整理。
11	整理作業①	現地調査で収集した各種資料を整理する。	予習：調査成果の整理。 復習：調査成果の整理。
12	整理作業②	現地調査で収集した各種資料について、文献等を援用して分析・検討する。	予習：調査成果の整理。 復習：調査成果の整理。
13	報告書作成①	調査報告書の執筆方法について講義する。また、分担執筆の役割分担を行う。	予習：調査成果の整理。 復習：報告書執筆。
14	報告書作成②	分担執筆箇所の第 1 案を提出し、受講生の間で執筆内容について討論を行う。	予習：報告書執筆。 復習：指摘内容の整理。
15	報告書作成③	各自の分担執筆箇所を提出し、調査報告書を完成する。	予習：報告書加筆修正。 復習：講義の振り返り。